



FOR YOU WITH MII

自然と夢とやすらぎを次代へ

あぐりピープル

People

最終号

Vol.420



感謝を胸に、新たな未来へ



みい農協本店



みい農協本所 (旧小都市農協本所)



北野町農協本所



大刀洗町農協本所

## 組合員・地域の皆さまへ

日頃よりJ Aみいの事業・活動に対し、深いご理解と温かいご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

このたびJ Aみいは、将来にわたって地域農業とくらしを支え続けるため、新たな段階へ進む決断として、令和8年4月をもちましてJ Aにじ、J Aくろめと合併する運びとなりました。農業を取り巻く環境は、担い手の減少、資材価格の高騰、気候変動への対応など、これまでにない速度で変化しています。こうした状況の中で、農業所得の増大、農業生産の拡大にこれまで以上に貢献するため、組織基盤の強化と事業機能の充実が不可欠であると判断いたしました。

合併により、各分野でより専門性の高い支援が可能になります。広域化によるスケールメリットを活かしながら、変化に強い経営体制を築き、安定したサービス提供に繋げてまいります。

一方で、J Aは地域に根ざした協同組合であることが何よりの原点です。組織の枠組みが変わっても、組合員の皆さま一人ひとりの声に耳を傾け、顔の見える関係を大切にする姿勢は決して変わりません。これまで各支店・各部署で培ってきた地域とのつながりを土台に、より相談しやすく、より頼りにされるJ Aを目指してまいります。

長年にわたりJ Aみいの歩みを支えていただいたのは、組合員・利用者・地域の



みい農業協同組合  
代表理事組合長

平田 浩則

の皆さまのご理解とご協力にほかなりません。各種事業活動、地域行事、広報活動に至るまで、多くのご参加とご支援をいただきましたことに、あらためて深く感謝申し上げます。

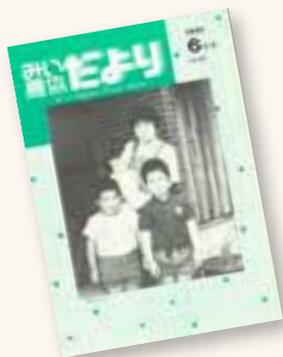
今回の合併は終わりではなく、新しいスタートです。環境が大きく変わる時代だからこそ、協同の力をさらに結集し、地域農業の振興と豊かな地域社会づくりに役員一同、全力で取り組んでまいります。

今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

表紙で振り返る

# JAみい広報誌

広報誌の表紙には、その時々季節や人の笑顔が刻まれてきました。一枚一枚の表紙をたどりながら、歩んできた時間と想いを振り返ります。

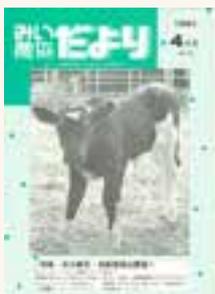


## ＼ 1987年創刊号 ＼



合併を控え、一足早く三井地区で発行スタート。奥様方の素敵な笑顔が表紙を飾りました。

## ＼ 1991年4月号 ＼



みい農協としては初の広報誌で唯一、動物が表紙に。6月号からは、親子の賑やかな様子をお届けしました。

## ＼ 1991年8月号 ＼



地域への愛着、人とのつながりを大切にしたいが伝わるタイトルに変更しました。

## ＼ 1992年8月号 ＼



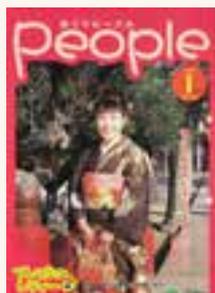
自然の恵みへの感謝を含めたタイトルに。1993年1月号からは、若い女性が華やかに彩りました。

## ＼ 1994年5月号 ＼



長年愛されるタイトル「あぐりピープル」が誕生。表紙も毎月カラーとなりました。

## ＼ 1999年1月号 ＼



明るくポップなデザインに一新。より楽しく、より元気な表紙へと生まれ変わりました。

## ＼ 2001年4月号 ＼



日本語のみのシンプルなタイトルに変更。ご夫婦の仲睦まじい様子を表紙で紹介しました。

## ＼ 2002年6月号 ＼



より身近に感じてもらえるよう、やわらかく親しみのあるタイトル表記に改めました。

## ＼ 2003年4月号 ＼



可愛い子どもたちが表紙に登場。いきいきとした笑顔から元気が伝わってきます。

## ＼ 2004年6月号 ＼



“人が主役”という想いはそのままに、より幅広い世代に向けたタイトル表記へ変更しました。

## ＼ 2006年4月号 ＼



親しみやすいデザインにリニューアル。まだ記憶に新しい方も多くはないでしょうか。

## ＼ 2013年8月号 ＼



優しく温かみのある現デザインに。2022年度からは、子どもと農産物が隔号で表紙を飾りました。

# 地域とともに歩んだJAみい

地域の皆さまに支えられ、JAみいは歩みを重ねてきました。これまでの歴史を、感謝の気持ちとともに振り返ります。

## カントリーエレベーター(CE)竣工

1991年(平成3)年5月に八坂CE、1994年(平成6)年8月に北野CE、1996(平成8)年に大刀洗CEが完成しました。米の制度別・用途別需要均衡に向けて、計画的生産と良質米麦の安定生産に取り組みました。



▲八坂・北野・大刀洗カントリーエレベーター稼働

## JAみい誕生

1991年(平成3)年4月1日、小郡市、久留米市北野町(旧三井郡)、三井郡大刀洗町の3つの農協が合併し、みい農業協同組合が発足しました。県内の広域合併農協としては9番目、販売高は県下1位の大型農協となりました。



▲合併予備調印式(平成2年11月14日)

## 「もりもりプラザ」オープン

1996(平成8)年11月、お米と旅の専門店「もりもりプラザ」がオープンしました。組合員・地域の皆さまのニーズに対応するため、ライスショップと旅行センターが一体となったサービスを開始しました。



▲もりもりプラザ・旅行センター新装

## 青色申告会設立

1994(平成6)年5月18日、設立総会が開催され、小郡支部、北野支部、大刀洗支部が一つになりJAみい青色申告会が誕生しました。設立時の会員数は318名で、組合員の皆さまの身近な税の窓口となりました。



▲青色申告会設立総会

## 経済センター開設

1999(平成11)年1月、購買事業の組合員・利用者の満足度向上と効率化による機能向上を目指し、経済センターを開設しました。生産専任の渉外担当者を設置し、要望や情報提供などの対応を行いました。



▲経済センター開設

## 管内5ヶ所で朝市開催

「小郡ふれあい朝市」「きくち朝市」「三国朝市」「北野朝市秋桜」「おやさい村ひかた」の5つの朝市を開催。地元で採れた新鮮野菜の販売を通して、地域の活性化と住民同士の交流に繋がりたいとスタートしました。



▲朝市が続々オープン

## 介護・葬儀ニーズへの取り組み

2003(平成15)年9月、高齢化社会や会館葬への対応を充実するため、日帰りで入浴・食事などが楽しめる通所介護施設「いきいき介護プラザ」、大斎場200人・小斎場100人収用の「やすらぎ会館しらゆり」を開設しました。



▲いきいき介護プラザ開設

## 高齢者福祉対策へ取り組み開始

1999(平成11)年3月、たすけあい組織「みどりの会」が誕生し、2000(平成12)年2月には高齢者福祉センターを設置しました。高齢者対策や要介護高齢者福祉対策に取り組みました。



▲みどりの会設立総会

## 園芸流通センター稼働

2005(平成17)年7月、久留米市北野町に園芸流通センターを竣工しました。自動荷受や予冷・保冷設備などを備え、集荷から出荷までの品質低下を防ぐことで、さらなる野菜産地の強化を図りました。



▲園芸流通センター稼働

## 第一次支所機能再構築

2003(平成15)年1月、変革の時代に対応するため、14支所から5支所3金融特化店舗へ再編を行いました。大刀洗地区では3つの支所を一つに統合した大刀洗中央支所を新築しました。



▲大刀洗中央支所(現支店)新築

## 電子図書館サービス開始

2007(平成19)年7月、JAみい版農業電子図書館を導入しました。営農指導員が不在の場合でも迅速に対応するため、営農センターや経済センターなど10ヶ所に設置しました。



▲電子図書館サービス

## 農産物直売所オープン

2005(平成17)年7月、生産者が栽培した農産物を直接販売し、消費者が安心して新鮮な地元野菜を購入できる店舗として直売所「めぐみの里」を開設しました。



▲直売所「めぐみの里」開設

## JAファンづくり活動

2010(平成22)年度、食と農を基軸とするJAの特性を生かし、地域密着活動を展開してJAファンを増やす目的で開始しました。各支所で工夫を凝らし、地域に選ばれるJAを目指して取り組みました。



▲プランターでも出来る家庭菜園

## 農業危機突破に向けて

2007(平成19)年12月、JAグループ福岡と農政連は、新農政改革などによる日本農業の難局を打開しようと、福岡県農業危機突破生産者大会を開催。政策の抜本的な見直し、消費者との連携・共生を求めて奮起しました。



▲福岡県農業危機突破生産者大会

## 総合ポイント制度導入

2011(平成23)年4月、組合員メリットの明確化と満足度向上に向け、事業利用に応じてポイントを付与するサービスを開始しました。貯金口座へのキャッシュバックやお買い物券への交換ができます。



▲来店ポイント端末設置

## 東日本大震災

2011(平成23)年3月11日午後2時46分、東北地方太平洋沖地震とその津波により、大規模災害が発生しました。組合員の各組織やJA役職員、地域の皆さまの善意をJAに集結して支援活動を展開しました。



▲被災地で復興作業を行うJAみい職員

## フリーズドライ味噌汁販売開始

2014(平成26)年7月、「筑後平野で生まれた小松菜のお味噌汁」を販売開始しました。小松菜部会の小松菜、JAみいの無添加みそ「みいの光」を使用し、塩分控えめで体に優しい6次産業化商品です。



▲筑後平野で生まれた小松菜のお味噌汁

## 広域農機センター設立

2011(平成23)年4月、久留米地区の4JA(筑前あさくら、にじ、みい、くるめ)とJA全農ふくれんにより、農業機械の一体運営をスタートしました。担当者は携帯電話を常備し、迅速なサービス対応を可能としました。



▲広域農機センター開所式

## 新型コロナウイルス感染症拡大

2019(令和元)年12月以降、新型コロナウイルスへの感染が全世界に広がりました。JAみいでは全役職員のマスク着用、パーティションや検温器、手指消毒液を設置し、感染拡大防止策を講じました。



▲各支店にパーティション設置

## 第二次支所機能再構築

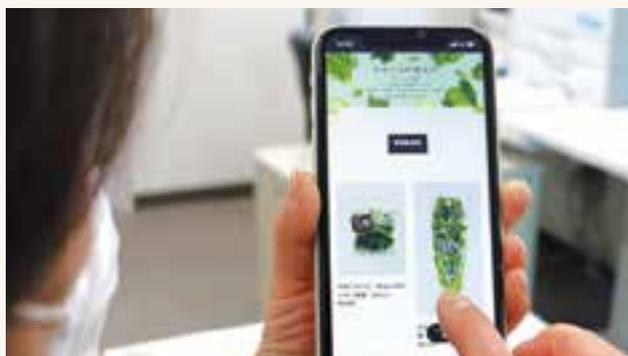
2016(平成28)年3月、組合員・利用者の様々なニーズに応じたサービスを提供するため、これまでの5支所3金融特化店舗から各行政単位に支店を設置した3支所に機能を再構築しました。



▲本店・小郡中央支店竣工

## YASITEオープン

2021(令和3)年12月、西日本有数の野菜多品目産地という特性を生かし、新たな販売方法として野菜直販サイト「YASITE(やさいと)」を開設しました。市場や量販店を通さず、消費者へ直接配送しています。



▲YASITE開設

## 豪雨災害

2017(平成29)年7月5日から6日にかけて九州北部を中心に記録的な大雨が降り、管内も甚大な被害に遭いました。その後、管内は7年で7回も豪雨による被害が発生し、農林水産大臣などへ支援を訴えました。



▲令和2年7月農林水産大臣 被災地視察

## 市町と包括連携協定

2023(令和5)年7月19日に大刀洗町、2024(令和6)年2月6日に小郡市と包括連携協定を締結しました。相互の持つ情報や技術を共有することで、地域の活性化や持続的発展に向けて包括的に連携しています。



▲大刀洗町との  
包括連携協定締結式



▲小郡市との包括連携協定締結式

## 農産物ロゴマーク商標登録

2022(令和4)年7月20日、JAみい農産物のロゴマーク「食べてみ!元気な野菜」の商標登録を行いました。ブランド価値や認知度向上のため、約80品目の袋や段ボール箱に印字しています。



▲ロゴマーク「食べてみ!元気な野菜」

# 3JAがひとつに JA福岡くるめ誕生

新たな体制で進めていく具体的な取り組みについてご紹介いたします。

所得  
増大

大規模農産物直売所を中心とした、多様な出荷者等の多品目の出荷増大による農業者の所得増大を行います。

「にじの耳納の里」と「めぐみの里」が連携(農産物リレー等)を行い、直売所間の出荷量・売上高増大を図ります。



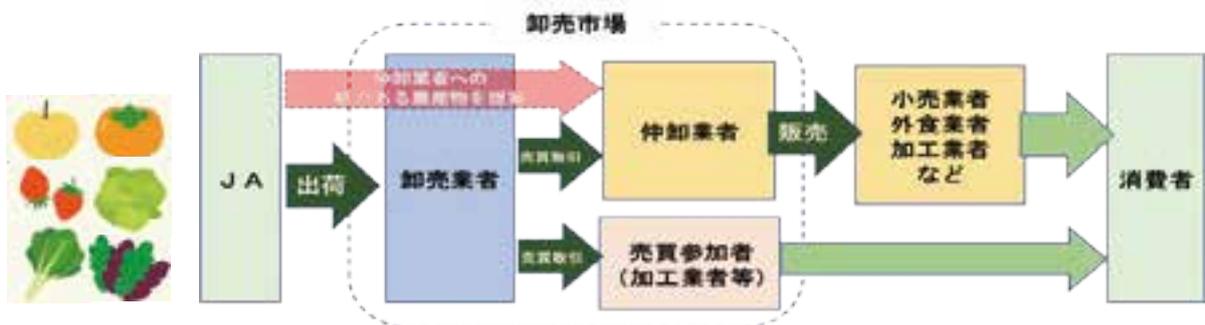
所得  
増大

農産物の価値を最大化する、JA農畜産物ブランドの確立を行います。



所得  
増大

多品種の農産物組み合わせによる販売方法の確立と相対取引を中心とした新JA農産物の販売拡大を図ります。



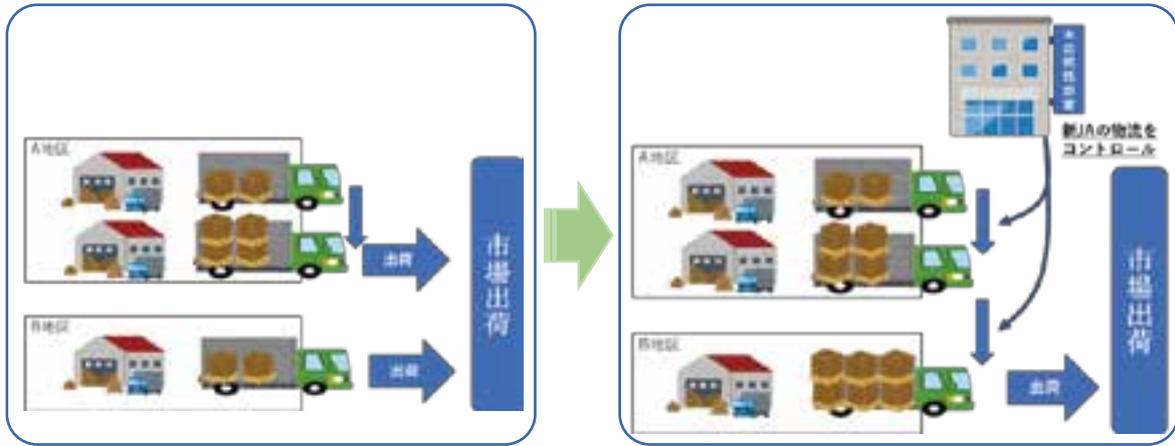
所得  
増大

マーケットインによる新たな販売・販路拡充と直売所・ネット販売の拡大による市場外取引の拡大を行います。



コスト  
低減

基幹施設(選果場、パッケージセンター等)の利用効率化に向けて物流の再編を行い、地域を越えた効率的な市場出荷体制を構築し、物流コストの削減を行います。



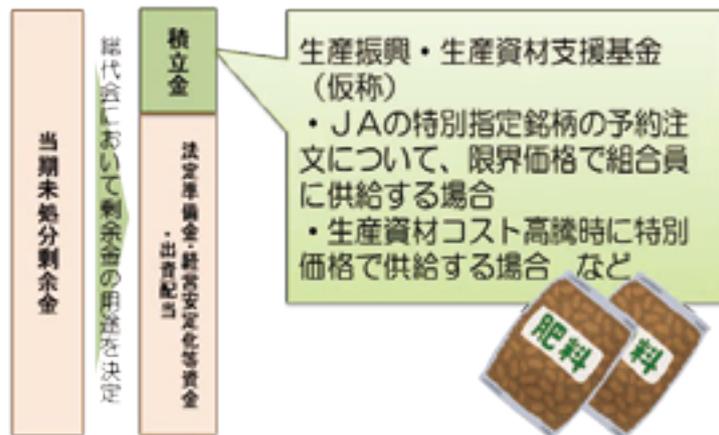
コスト  
低減

生産資材の使用基準、規格の集約および価格の統一を図り、3JAの取扱規模の利点を活かし、組合員の資材の低コスト化に取り組みます。



コスト  
低減

生産振興・生産資材コスト高騰対策のための、「生産振興・生産資材支援基金(仮称)」を創設し、新JA組合員の農業を振興します。



持続的  
営農

計画的に投資、改修を行い、円滑で恒久的な施設利用を実現します。  
また、組合員の利便性を重視した、老朽施設、低利用施設の再編を検討します。

現行の園芸流通センター（各JA1ヵ所、計3ヵ所）のうち、JAにじ園芸流通センター、JAくるめ園芸流通センターの2ヵ所については、施設の老朽化や業務の効率化等に課題を抱えており、合併後に施設の改修等が必要となるため、改修等の規模・時期等について協議・検討し、計画的に行うものとします。

また、当該施設の利用料については、当該施設の建設費や維持管理費を基礎に算定し、施設利用の対価として利用者から徴収するものとします。

なお、合併時に各JAから持ち込む任意積立金のうち、組合員利用施設の取得・改修に対応する目的積立金については3JA毎に設定し、原則として、使用用途は当該JAの施設に関するもののみとします。



持続的  
営農

農業者のメインバンクとして活用していただくため、  
相談体制を整備し農業者の資金および保障のニーズを把握し的確な対応に努めます。



持続的  
営農

DX化担当部署を設置し、  
組合員のJA事業利用の利便性向上や業務の処理スピードアップを図ります。



持続的  
営農

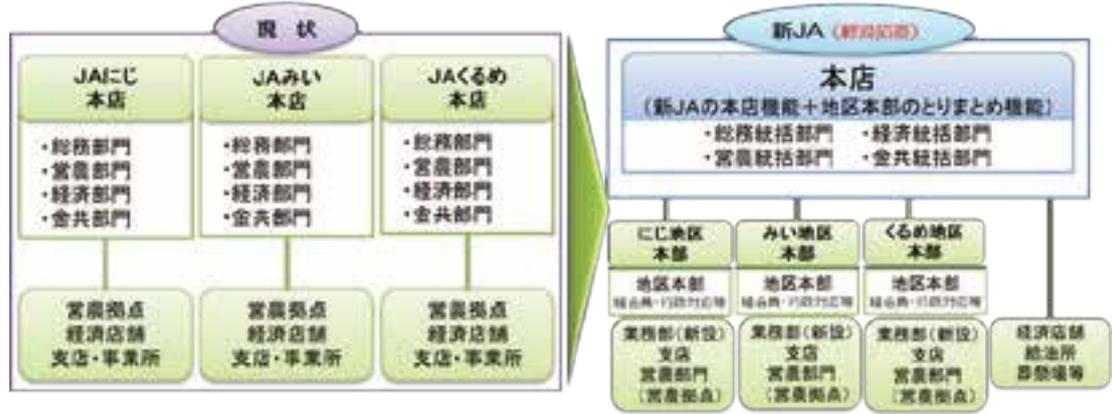
営農部門に専門的な  
営農指導員を効率的に  
配置し、本店統括部署  
(営農指導担当、  
融資専門担当者、  
相続相談担当の設置等)を  
中心に、多様な組合員の  
ニーズに丁寧にかつ  
迅速に対応する態勢を  
構築します。

多様な 組合員	主な対象者	主なニーズ	主な対応施策内容等
高齢化が進む 高齢者	<ul style="list-style-type: none"> <li>専業農業者</li> <li>兼業農業者</li> <li>高齢者農業者</li> <li>高齢者農業者の家族</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大規模生産に対する安定した販売先の確保</li> <li>様々なリスクの備え</li> <li>労働力の確保</li> <li>情報収集への継続的な支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢化と連携した、高度な技術対応</li> <li>高齢者に対するリスク回避</li> <li>労働力確保支援</li> <li>補助事業等多活用した農機・ハウスローン等の提供</li> </ul>
中核的担い手 担い手	<ul style="list-style-type: none"> <li>専業農業者</li> <li>兼業農業者</li> <li>兼業農業者の家族</li> <li>新規就業者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生産資材の価格低減</li> <li>出荷時期の調整</li> <li>生産物の販売向上</li> <li>農産物販路にかかわる情報提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生産資材の全額融資一帯による出荷調整の削減等</li> <li>取引先に対応した生産資材価格の引き下げ</li> <li>スケールメリットを活かした有利な販売の確保</li> <li>1日1店によるリアルタイムの情報提供</li> </ul>
担い手 担い手	<ul style="list-style-type: none"> <li>兼業農業者</li> <li>兼業農業者の家族</li> <li>兼業農業者</li> <li>兼業農業者の家族</li> <li>兼業農業者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規就業者</li> <li>新規にやさしい生産技術の導入</li> <li>農産物・インショップへの出荷</li> <li>農地管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>農地集積支援、過労作休等の対策</li> <li>実需者の多様なニーズに対する農産物</li> <li>次世代の担い手の確保</li> <li>農業経営支援による所得拡大支援</li> <li>専門家に連携した相談、事業継承支援</li> </ul>

※1 専業農業者 100万円以上の経営体  
 ※2 兼業農業者 300万円以上の経営体  
 ※3 兼業農業者 300万円未満の経営体

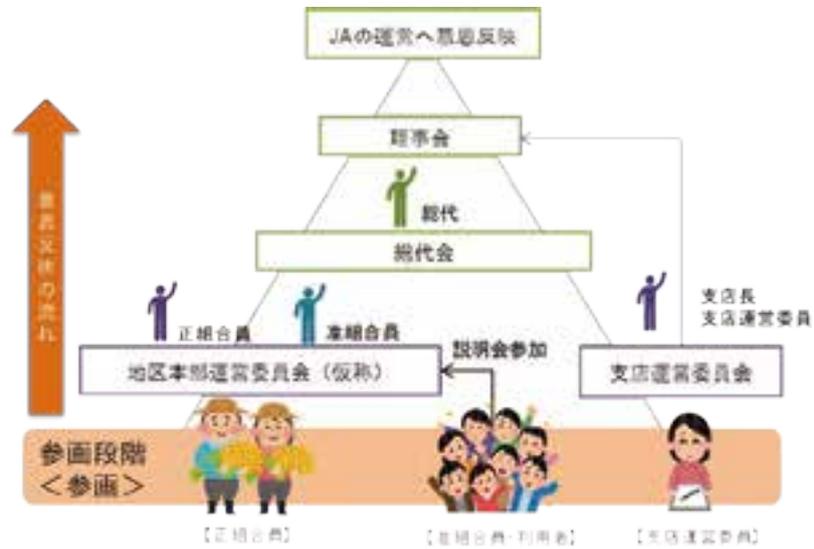
基盤  
強化

本店統括部署を中心とした事業実施体制を構築し、  
各地区本部との密な連携により円滑な事業運営を行います。



基盤  
強化

組合員組織や  
組合員代表の  
JA運営参画強化のため、  
地区本部運営委員会  
(仮称)を設置し、  
組合員や利用者の  
意思反映を促進します。



# 総代選挙通知

## 正組合員の皆様へ

福岡久留米農業協同組合総代選挙を**令和8年4月24日**に行います。

以上、福岡久留米農業協同組合定款附属書総代選挙規程第4条の規定により通知いたします。

令和8年3月25日

**投票開始時刻 午前9時00分**  
**投票終了時刻 午後5時00分**

- 投票所・開票所及び選挙する総代の数(表のとおり)
- 投票用紙に記載すべき選挙する総代の数…1名

選挙区	定員	投票所	開票所
弓削地区	9名	北野中央支店	
北野地区	14名		
大城地区	14名		
金島地区	9名		
小郡地区	11名	小郡中央支店	
三国地区	12名		
津古地区	2名		
立石地区	16名		
御原地区	9名	大刀洗中央支店	
味坂地区	12名		
大堰地区	12名		
大刀洗地区	14名		
本郷地区	14名		
菊池地区	6名		

## 広報誌終刊および新JA広報誌発行のお知らせ

このたび、長年にわたりお届けしてまいりましたJAみい広報誌「あぐりピープル」は、令和8年4月1日の合併に伴い、本誌最終号をもちまして終刊とさせていただくこととなりました。今までご愛読いただいた皆さまに、心より感謝申し上げます。

新JA「JA福岡くろめ」の初号となる広報誌は、編集の都合により、4月号と5月号を合同で合併記念号として4月下旬に発行いたします。

これからも組合員や地域の皆さまに寄り添い、親しんでいただける広報誌をお届けしてまいりますので、今後とも変わらぬご愛読をよろしく願いいたします。

## 理事会だより

第12回理事会 令和8年2月27日

### 【付議事項】

第1号議案 理事の退職慰労金の決定について

### 【協議事項】

- (1)中期経営計画実践による令和7年度事業報告(案)について
- (2)中期経営計画実践による令和8年度事業実施計画(みい地区案)について
- (3)令和8年度総合収支計画(みい地区案)について
- (4)令和8年度固定資産取得計画(みい地区案)について
- (5)令和8年度遊休資産(みい地区案)について

### 【報告事項】

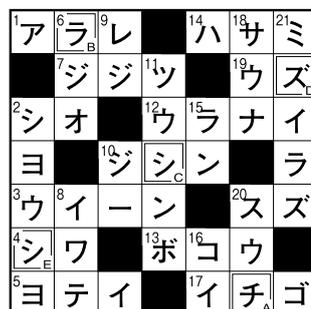
- (1)事業概況について
  - (2)常勤理事会報告について
  - (3)総務専門委員会、営農経済・生活専門委員会の報告について
  - (4)久留米北地区3JA合併研究協議会報告について
  - (5)福岡久留米農業協同組合諸規程等について
  - (6)貯金者データ整備状況について
  - (7)八坂カントリーシーケンサー更新完了について
  - (8)冬の特得フェアの結果について
  - (9)農機展示会の結果について
  - (10)弓削配送センター灯油流出について
- その他

## JAの動き (2月末現在)

組合員数	8,154人
(正組合員 3,868人、准組合員 4,286人)	
貯金	795億4,419万円
貸出金	109億3,934万円
共済契約保有高	2,045億3,405万円
販売品販売高	74億4,537万円
購買品供給高	24億829万円

※販売品販売高、購買品供給高は令和7年4月1日からの累計

## クロスワードパズル



3月号の答え

「チラシズシ」

## 編集後記

Editor's postscript

JAみいの誕生とともに、JAと組合員・地域の皆さまを結ぶ情報の架け橋として歩みを重ねてきた「あぐりピープル」も、本号で最後となりました。7年間、制作に携わることができて貴重な経験になりました。長年ご愛読いただいた皆さま、取材や原稿提供にご協力いただいた皆さま、本当にありがとうございました。新しい広報誌も、どうぞご期待ください。(浦塚)

